

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	島津明人	所属	慶應義塾大学
研究会等名称	産業保健心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>本研究会で企画した日本心理学会第86回大会公募シンポジウムは、オンデマンド配信のため、参加人数等は不明</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>本研究会では、臨床心理学、産業・組織心理学、社会心理学、精神医学、公衆衛生学などの多領域にわたる国内外の研究者や実践家らとともに、労働者の安寧（健康、幸福、安全）に関する研究と実践について、総合的に検討することを目的とする。</p> <p>本年度は以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本心理学会第86回大会における公募シンポジウム 「これからの職場のメンタルヘルス：労働観の転換と朗働の実現」（日本大学主催） 日時：2022年9月12日～10月31日（オンデマンド配信） 内容：2002年から毎年年次大会にて企画しているワークショップ/シンポジウムであり、2022年度で20回目の開催となった。今回は、日本行動科学学会、日本産業ストレス学会との連携企画として、「勤怠データを用いた働き方とメンタルヘルスの分析」（佐藤香織，明治大学）、「朗働を目指した働き方と眠り方」（中田光紀，国際医療福祉大学）、「組織内の行動について：ハイブリッドワークとクリエイティビティ」（稲水伸行，東京大学）、「労働者の心身状態センシング」（荒川豊，九州大学）について話題提供が行われ、小林正弥先生（千葉大学）の指定討論により全体討論が行われた。また、視聴者からの質問も受け付けた。なお、例年は、70-100名の会員が参加しているが、今回は、オンデマンド配信のため視聴人数は不明である。 <p>2023年度は、第87回大会における公募シンポジウム、ICOH-WOPS（国際労働衛生学会-仕事の心理社会的要因に関する科学委員会：島津明人委員長）とAPA-PEAW（アジア太平洋－仕事の心理社会的要因に関する学会：中田光紀会長）との共同企画等の開催を予定している。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
産業保健心理学研究会				
研究集会開催日：2022年9月12日(月)～10月31日(月) (オンデマンド配信)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	島津明人	慶應義塾大学	○	
2	中田光紀	国際医療福祉大学	○	
3	稲水伸行	東京大学		
4	佐藤香織	明治大学		
5	荒川 豊	九州大学		
6	小林正弥	千葉大学		
7	オンデマンド配信のため登壇者以外の参加者は不明です			
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2023年3月14日

日本心理学会研究会

2022年度会計報告書

研究会名称 産業保健心理学研究会

研究会番号 22021

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2022年9月20日	講師謝礼（佐藤香織）	¥3,000
2022年9月20日	講師謝礼（稲水伸行）	¥3,000
2022年9月20日	講師謝礼（荒川豊）	¥3,000
2022年9月20日	講師謝礼（小林正弥）	¥21,000
支出合計		¥30,000